

令和6年度 浦臼町認定こども園なかよし 園評価

上段が今年度の集計結果

下段は昨年度の集計結果

I 保護者アンケート集計

番号	アンケート内容	A	B	C	D	E
1	園児は、明るく、元気で、心の優しい子どもに育っている。	54.3%	42.9%	2.9%	0.0%	0.0%
		46.9%	53.1%	0.0%	0.0%	0.0%
2	園では、園児一人一人の個性を大切にして指導していると感じる。	48.6%	40.0%	5.7%	2.9%	2.9%
		56.3%	40.6%	3.1%	0.0%	0.0%
3	園児は、命の大切さや社会のルールが身についてきている。	42.9%	48.6%	5.7%	0.0%	2.9%
		59.4%	37.5%	3.1%	0.0%	0.0%
4	園児は、あいさつや身の回りの始末（衣服の着脱・排泄・手洗い・うがい等）など、基本的な生活習慣が身についてきている。	60.0%	40.0%	0.0%	0.0%	0.0%
		71.9%	28.1%	0.0%	0.0%	0.0%
5	園は、安全に十分配慮された環境で活動が行われていると感じる。	45.7%	45.7%	2.9%	2.9%	2.9%
		65.6%	31.3%	3.1%	0.0%	0.0%
6	園児は、給食や食育（教材園、手作り弁当など）を通して、食べる事への意欲や食に関心を持てるようになった。	65.7%	28.6%	5.7%	0.0%	0.0%
		75.0%	21.9%	3.1%	0.0%	0.0%
7	園は、保護者との連携を図り、様々な体験ができる教育・保育を行っていると感じる。	77.1%	17.1%	2.9%	0.0%	2.9%
		78.1%	18.8%	3.1%	0.0%	0.0%
8	園だよりやクラスだよりなどを通じて、各種行事やクラスの様子などを知ることができる。	85.7%	14.3%	0.0%	0.0%	0.0%
		87.5%	12.5%	0.0%	0.0%	0.0%
9	園は、子どものしつけや心配事等、保護者の相談に応じていると感じる。	62.9%	22.9%	8.6%	2.9%	2.9%
		62.5%	31.3%	3.1%	0.0%	3.1%
10	園は、子どもの病気や怪我、健康状態について保護者に適切に伝え対応していると感じる。	68.6%	22.9%	5.7%	2.9%	0.0%
		68.8%	31.3%	0.0%	0.0%	0.0%
11	本年度の園の教育・保育についておおむね満足している。	62.9%	25.7%	11.4%	0.0%	0.0%
		78.1%	18.8%	0.0%	0.0%	3.1%

※昨年度実施した際、1番の質問は分かりにくいとの反省から、内容は変えずに文言を変更した

【コメント】 記入頂いたコメントから各番号2つずつ抜粋

1	年下の子たちとの関わりで優しく可愛られるようになり妹にもよいお兄ちゃんです。 年齢関係なく誰とでも仲良くしているように思います。
2	その子その子に合った指導の仕方をしてくださっていると感じています。 長所を助長し、子どもに合った教育が実施されている。
3	上が下を見る大切さはなかよしの良さが出ていて素晴らしいです。 物を大切に扱ったりすることができるようになったと思います。
4	毎日毎日の生活の中で成長を実感します。自分でやる気になってくれます。 トイレが進むようになってきたのですごく助かっています。
5	清潔感がありいつもきれいで安全に配慮されていると思います。 気になる点はありません。
6	行事の給食や園で作ったものを調理するのは楽しんでいました。 通園しだしてから食べる量も種類も増えました。
7	四季を通じて自然あふれる教育が実施されていると感じる。また、えみるでの演奏会などで世代交流が行われており良いと思う。 季節毎のイベントをたくさんしてもらい、様々な体験ができていると思います。

8	子どもの表情が大変わかりやすく各種行事での様子が理解しやすい。メールも楽しみにしています。写真で楽しそうな様子が知れて嬉しいです。
9	とても親身に相談にのっていただきました。担任の先生や補助の先生が相談にのってくれてよいです。
10	小さな変化や怪我でもしっかり説明してもらえています。対話帳などで一日あった出来事を記載してあるため把握しやすく、また口頭で伝達されており良いと思う。
11	十分以上に満足しています。満足しています。
その他	行事では一人ひとりとても立派で感心しました。それは毎日、先生方が丁寧に指導しているからだと思います。普段から、少し難しいこともチャレンジさせ、根気強く指導してくれるおかげで、日常はもちろん行事の場でも立派に発表できるのだと思います。これからもよろしくお願いします。限られた時間の中で様々な行事や企画を考えて、子どもたちにいろいろな体験をさせてもらって感謝しています。ありがとうございます。

【ご意見への回答】改善を求めるとご意見への回答

9	ケガのことなどは伝えられないことが多かったです。 →ケガの場合、ぶつけた箇所を冷やすなどの対処を行い、その旨を連絡帳に書くかお迎え時に口頭で伝えるように努めています。医師の診断を受けたほうがよい場合は、緊急連絡先に電話しお迎え・通院をお願いしています。ですが、意思疎通がうまく行かなかったことが有ったのかもしれない。今後そういうことがないよう気をつけていきます。
10	色々な会や発表会があって子どもたちの心身発達に大きなウエイトになっていることも感じているが、先生方の音楽の練習で一部伝わりきれていない時があると感じている。 →演奏会に向けた職員の練習については、降園していない園児を一箇所に集めビデオを見せるなど、安全に保育できるよう努めました。保育に影響のないよう勤務時間後に練習を行いました。職員がほぼ全員いるため、お迎え時に玄関に担任が出て来てくれないと感じられたのではないかとされます。3学期のお別れ会演奏会や来年の演奏会練習も同じように行います。ご理解いただければと思います。
11	子育て講座の回数を増やしてほしい。保健センターと連携取りながら色々な活動してほしいです。 →認定こども園なかよしは町が設置し運営を社会福祉法人揺籃会が行う公私連携型のこども園であり、予算決算等の窓口になっている福祉課（保健センター）とは毎月連絡会議を持っています。その中で、設備の修繕、待機児童状況、定期健診や園児に関わるケース会議、教育保育に関すること、その他職員等に関することについて情報交流をしています。子育て講座は予算内でニーズのある講座を行うよう努めています。
その他	アンケートや書面ではなく先生方（園）の考え方をきちんと対面で考え方や方針を聞きたい。 →入園前の面接、参観日の懇談会で方針等を伝えるとともに、お迎えや親子レク等で対話出来るよう心がけています。質問等があれば、随時お話しただけだとお答えできますので、お声がけください
	小学校・中学校の参観日などの行事のときも預かりをしてもらえると上の子達のためにしっかり授業なども見てあげられると思うことがあります。 →学校の参観日に園の児を連れて行くよう促しているのは、学校の雰囲気や上の子の授業態度などに触れて、学校に行きやすくなることを願っているからです。保護者とともにトイレや体育館・特別教室などの経験ができることも貴重です。参観日の後に仕事へ行くため児を預けることはその都度相談してください。
	欠席連絡を電話ではなく携帯からできるようにできませんか。また文書をPDFで配布出来ませんか。 →携帯で欠席連絡できるシステムは楽メにもありますが、詳しいことは載せられません。例えば欠席理由が病欠だけだと、感染症の疑いを園が知ることが出来ず他の児への感染防止策を取れないことがあります。ですので電話をして詳しいことを教えていただくこととなります。また、携帯からの欠席連絡を園が見落とし、連絡した・受けていないの水掛け論になる可能性もあります。結局、電話が一番よい連絡方法だと考えています。
	いつもありがとうございます。夏休み冬休みがない子どもにとって、一行日記や自由研究（小学校においても任意提出です）は子どもにとっても親にとっても負担に感じています。 →一行日記が負担なのは、何を書いていいかわからないからなのか、文字をスムーズに書けないからなのか、児が一人でやれず保護者が手伝う時間が負担なのかなど、負担と感ずる理由は様々あると思います。休みに入る前にクラスで指導していますが、不十分な面があれば申し訳ありません。子どもを間に挟んで職員と保護者が前向きに相談しあい、子どもにとって最善の方法を見出していただければと思います。

働く子育て世帯が増えてくる中で年間行事以上のお休みを取りやすい人とそうではない人がいると思います。午前の行事を親が手伝う時等、午後は仕事をしたいというケースもあるかと思しますので、「一緒に降園」となる場合は協力依頼時にお伝えいただけるといいのではと思います。留守番が難しい年齢のため、配慮いただけると助かります。

→依頼時に「一緒に降園」を伝えていなかったのに、降園しなければならなかったことについては申し訳なく思います。齟齬が生じないように、お手紙等での伝え方に工夫していきます。

演奏会が多すぎて、年長さんが水遊びや雪遊び等、季節に合った遊びが少なく、負担になっていて可哀想でした。

→水遊びの時期に演奏会練習はしていません。雪遊びも極端に減ってはいないと思います。ただ、お家で児がそのように話していたなら、もっと外で遊びたかったという気持ちを伝えなかったのでしょうか。取り組む活動に極端になりすぎないように気をつけていきます。

II 保育教諭の自己評価 1 段目；子どもの実態に即して行った指導

2 段目；子どもの動向

3 段目；指導後の反省

○けん玉への興味が湧いていない子に、成功したらシールを貼る表を作った。

子どもたちの興味が高まり、進んで取り組むようになった。

子どもの状況に応じた対応・指導をすること、噛み合わなければ早い時点でその対応・指導を見直すことは、保育教諭に必要な資質だと改めて感じた。

○縦割りの活動を始める前のテーマ決めやプレゼンは順調に進んだが、始まってみると周りが見えない、下の子とうまく関われないなどにより、活動を進めていけない子たちに、毎日帰りの会で進捗状況や進め方について話をした。

意欲が高まり、自分の意見を周りに伝える子が出てきた。

早い段階から見通しを持って活動させること、自分の意見を伝えることを指導すべきだった。

○玩具を共有して友だちと遊ぶ、一つのことを集中して遊ぶことが苦手な子に、担任と一緒にけん玉に取り組み、できた喜びを受け止め、他の保育教諭にも見て褒めてもらうよう促す。検定当日まで気持ちを高めた。

大皿成功の後は、意欲が高まり自分から練習したり、年長児に教えてもらいたく早めに給食を完食したりした。持って走り回るときは事務室で集中して練習させた。

保護者と連携しコップけん玉成功後に自分用けん玉を買ってもらう。けん玉に取り組む理由と効果を保護者に伝えたことが親から子への励ましにつながった。保護者とうまく連携したこと、負けず嫌いな性格をうまく利用しやる気につなげたことで、他のことにもじっくり取り組むことが出来るようになった。けん玉検定は7級を合格した。

○初めての水・泥の感触が嫌だったり周りで激しく遊ぶ雰囲気嫌で泣いていた子に、他の子と離れて担任とあるいは一人で遊べるようにして、安心できる環境にした。

一人の空間になったことで自分から触れることが出来た。

周りと距離を取り安心させたことで、水や泥遊びが慣れてくれてよかった。

○自分を守るための嘘が増えてきた子に、話を聞くことの大切さや話を聞いている子とそうではない自分の違いに視覚でも気づかせてきた。また、「周りとは違うところない？」の声掛けを続けた。

話を聞いていなかったと正直に話すことが増えてきた。

理解力も劣る点があるのももう少し寄り添いを増やすこと、話し始めに全員の注意をひくことを確認してから話すことをすべきだった。

○自分の作った楽器で演奏したい曲を聞き、未満児に来てもらい発表した。

全員で演奏する他に、クラスごとにしたいという希望が出たので、楽器紹介と演奏方法を発表しそれぞれの曲を演奏した。

自分で楽器を作った満足のほか発表もしたことで、さらに楽器に愛着を感じて楽しそうだった。

○動きの活発な子に刺激を減らし理由も説明するとともに行動の背景に思いを馳せつつ明確な行動指示を出した。危険・迷惑・不快なことは何があっても一貫してダメ出しをし、少しでも待てたらたくさん褒めた。

声掛けで動けたり、一定時間座ったり待てたり、身支度も頑張る様子が見られる。

非認知能力を伸ばすため自己肯定感を高める関わりを続けていきたい。

三 園の自己評価 課題と対応（改善）策

1) 展覧会制作等で消耗品が足りていない。運動会、発表会の作り物が年々大きくなっている。

- ・展覧会等のねらいを確認する。個人制作の個数、大きい制作物の個数を決めておく。
- ・子どもの希望をすべて実現するのではなく、担当者の持つねらいの達成に向け、希望を修正しつつ子どもを満足させる。
- ・使いたい消耗品を活動前に出して予算と照らし合わせ、購入できないなら制作物を変更する。
- ・運動会、発表会の作り物は減らす方向で考える。
- ・運動会では以上児は同じものを使う→担任同士で話し合う。
- ・在庫と予算の残りを教材に貼るなど、見通しを持てるようにする。
- ・教材費予算を増やす。共用するティッシュペーパーは家庭から徴収し他に予算を回す、クラス費からも買えるようにする→教務で検討する

2) 朝、夕にホールに二人しかいないことあり。

- ・抜ける時は声掛けしていく。

3) シフトの動きなど、意識改革が必要ではないか。

- ・ゴミ出しは冬休み以外もE番がすることでどうか。
- ・事務室掃除は早番がやることでどうか。
- ・各自の引き出しは整理整頓する。
- ・午前中保育に入っていない職員は午後保育に入るなど、事務時間が平等に取れるようにする。
- ・チェックリスト（別掲）で自分の保育を見直す機会を作る。

4) ロッカー置き場所

- ・男性職員のロッカーを一部屋にまとめることは物理的に無理。

5) パソコン足りない

- ・法人の対応によるが、園としては1台増やす方向で検討。

6) 知らない決定事項が多い。

- ・決めたら必ず他の職員に伝えるなど、見える化していく。
- ・日程に関わることは、月黒板に必ず記入する。

7) 適切な教育・保育の在りようを共通理解したい。

- ・人格の否定、家庭環境への配慮に欠く関わりはなくし、保護者の自己肯定感を高め、子の自ら育つ力や回復力を高める教育・保育を行う。

・成果主義、早期教育、競争の強要と思われる教育・保育をしない。

8) 発達グレー児に同じ対応ができていない。

・保育の反省や事務室の会話等でグレーな子どもの状況を伝達するだけでなく、同じ対応ができるよう具体的な対応について協議し共通理解をしていく。

9) 行事が多い。

・週に二つくらいがよい。

10) 園長と個人面談

・どちらからか声掛けして、必要に応じ行う。

11) 演奏会

・子どもが応援できたり興味関心を向けてくれるよう保育教諭全員参加で行う。

・演奏会回数は、年間行事・研修・IMDの見通しで協議・決定する。

12) 困る保護者との対応

・担任外からも話せるよう困っている保護者の情報を話題にする。

支援センター) 参加者が少ない

・ラインで行事の呼びかけや活動写真、お便りを送り、参加を促し効果があった。

四 関係者評価・第三者評価

保護者アンケート、自己評価、普段の教育・保育活動をもとに、小学校の校長・教頭先生に3項目の評価をしていただいた。

- ① 基本理念、教育・保育方針の実現に向けた教育・保育が実践できているか
- ② 教育・保育目標の達成度
- ③ 保護者や関係者の意見を踏まえた改善の取組は妥当か

結果はいずれもA評価。課題に対する取組が適正であり改善がなされている（なされる）と判断された。

五 まとめ

今後もよりよき教育・保育を実現を実現し、どの子どもスムーズに小学校へ入学できるようにしていきたい。そのためにも、教育振興会の園小中連携サークルや町の校長会議、学校運営協議会（うらうすCS）などとの連携や日常的な小学校との連携（職員間、子ども同士）を保つことに留意する。また、中学校3年生の保育実習受け入れを継続していきたい。

さらに、職員にとって働きがいのある職場の構築、職員の活性化のため、心理的安全性と組織的運営がなされているかどうかを常に細かく見ていく。

以上の取り組みにより、基本方針及び保育・教育目標の達成と保護者に信頼されるこども園を目指す。